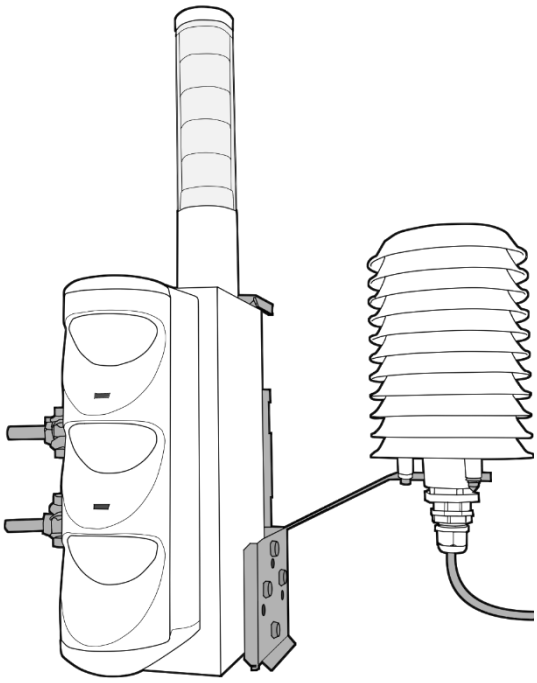
WEATHERY



操作マニュアル

第 1.3 版

仕様改善の為予告無く内容を変更する場合があります。
最新のマニュアルは以下 URL で確認ください。
『https://www.kids-way.ne.jp/iot/manualdownload.html』

目次

1. はじめに 1

1.1. 特徴 1
1.2. 動作確認環境(2026 年 6 月現在) 1
1.3. 対応製品 1
1.4. ユニット管理の仕組みについて 2

2. 操作 3

2.1. ログイン 3
2.1.1. ログイン画面 3
2.1.2. ユーザーアカウント作成 5
2.2. ユニット情報を確認する 6
2.2.1. ダッシュボード画面 6
2.2.2. 一覧表示操作 8
2.3. 人感センサーの設定を行う 9
2.3.1. 個別設定画面 9
2.3.2. モード設定の変更 10
2.3.3. スケジュール設定、削除 11
2.3.4. ログ出力のダウンロード 12
2.4. 温湿度センサーの設定を行う 13
2.4.1. 個別設定画面 13
2.5. 風速センサーの設定を行う 15
2.5.1. 個別設定画面 15

3. 設定 17

3.1. ユニット設定 17
3.1.1. ユニット追加 17
3.1.2. ユニットの名称変更 18
3.1.3. ユニットの削除 18
3.2. パスワード設定 19
3.2.1. パスワード変更 19
3.3. メール設定 20
3.3.1. メールアドレス登録 20
3.3.2. 通知ユニット登録 21
3.3.3. 通知ユニット削除 23
3.4. グループ設定 24

3.4.1. グループの作成 24
3.4.2. グループ操作 26
4. 困ったときは 27
4.1. シリアル番号がわからない 27

1. はじめに

1.1. 特徴

本製品は屋外熱線センサーを使用し、物体が検知エリアを通過した際に音と光で威嚇します。

ブラウザからログインし、各種設定が可能

ソフトウェア不要で、パソコンやスマートフォンのブラウザからログインできます。

スケジュール機能

曜日ごとに警報を動作させない時間を設定できます。(通常はセンサー検知時に警報が動作します)。

メール通知機能

センサー検知時にメール通知を行います。(最大 5 件まで)。

警報動作制御

センサー検知時に動作する警報の動作時間を設定できます。また、強制動作や強制停止を行えます。

1.2. 動作確認環境(2026 年 6 月現在)

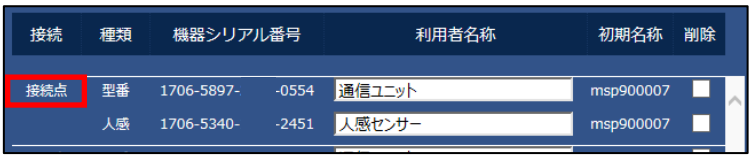
デバイス	バージョン:ブラウザ
パソコン	Windows11：Edge、Firefox、Chrome
iOS	iOS 26.5：Safari

1.3. 対応製品

・WEF-DS01
・WEF-TH01
・WEF-GT01

1.4.　ユニット管理の仕組みについて

ユニットの追加にはシリアル番号を使用します。一つのアカウントで複数のセンサーを管理する場合や、別のアカウントにセンサーを追加する場合に使用します。
また、本製品は２つのシリアル番号を持っており、ユニット管理の役割、権限に違いがあります。



『接続点』に紐付いているセンサーに対して、アカウントは設定を変更できる権限を持ちます。別アカウントに『接続点』のシリアル番号を追加した場合、紐付いているセンサーも自動的に追加されます。

※各シリアルを登録した場合の権限は表を参照してください。

	接続点＋センサー	センサーのみ
モード設定	○	×
警報時間	○	×
スケジュール設定	○	×
ログ出力ダウンロード	○	○
名称変更	○	○
メール設定	○	○
グループ設定	○	○

2. 操作

ここではユニット操作の方法を説明します。

2.1. ログイン

以下の手順で操作してください。

2.1.1. ログイン画面

I. パソコンやタブレットから Edge や Safari など（以下ブラウザ）を起動します。

II. URL『**https**://weathery.jp/』を入力し、専用サイトを表示します。(図 1 参照)

※必ず https://（SSL 暗号化通信）になっているか確認してください。



図 1

III.　専用サイトにログインします。設定情報シートを確認し、『ユーザー名』と『パスワード』を入力して【ログイン】ボタンを押してください。(図 2-①参照)



図 2

IV.　初回ログインの場合はパスワード変更画面が表示されます。『新しいパスワード』に新しく使用するパスワードを入力し、『新しいパスワード(確認用)』にもう一度同じパスワードを入力してください。この時、パスワードは●で表示されます。入力したら【OK】ボタンを押してください。(図 3 参照)

※パスワードは設定で変更することができます。

※パスワードは半角英数字 4 桁以上 16 桁以内で入力してください。大文字小文字は区別されます。



図 3

2.1.2. ユーザーアカウント作成

追加でユーザーアカウントを作成する方法を説明します。

I. ログイン画面の『追加ユーザー発行はこちら』を押してください。(図 2-②参照)

II. 『ユーザー名』『パスワード』『パスワード(確認用)』をそれぞれ入力してください。
この時パスワードは●で表示されます。
入力した後【発行】ボタンを押してください。(図 4 参照)



図 4

※既に登録されているユーザー名は登録できません。

2.2. ユニット情報を確認する

ここではユニットが取得した情報を確認する方法を説明します。

2.2.1. ダッシュボード画面

一覧表示画面の各種名称、アイコン、ボタン操作を説明します。

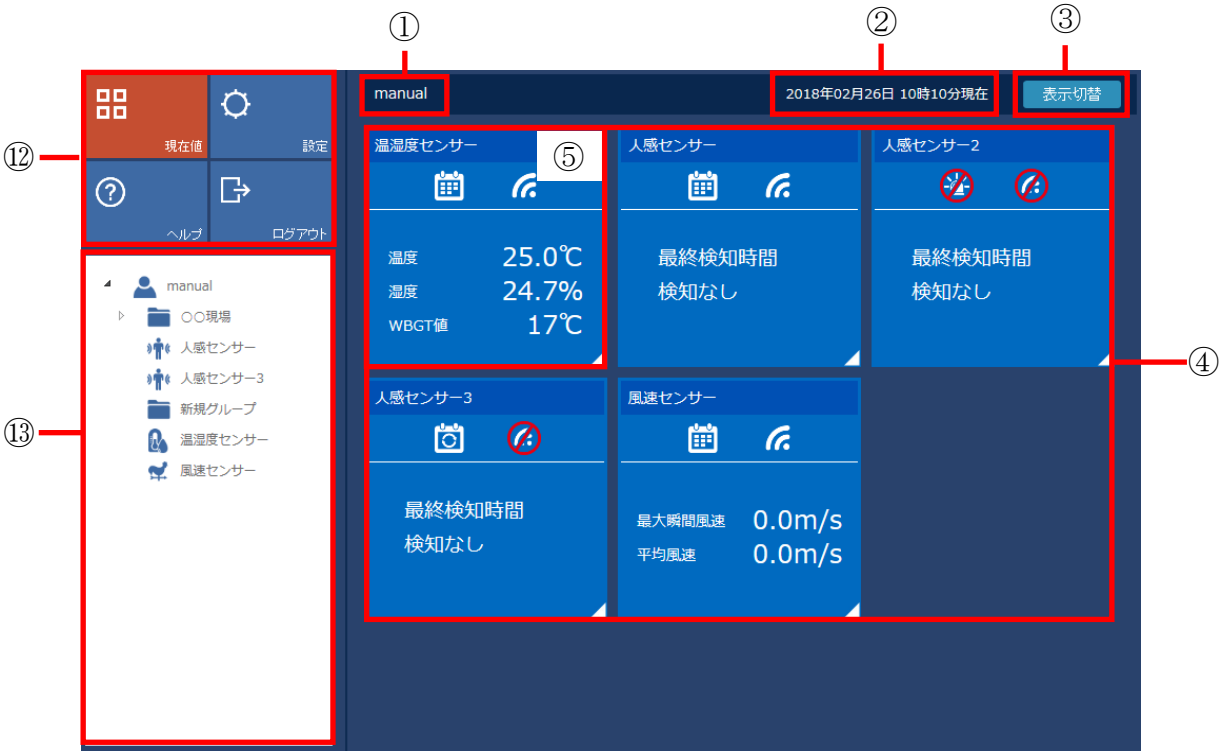


図 5

① 一覧表示選択グループ名

一覧表示領域に選択されているグループ名を表示します。

② 更新時刻

ユニット情報が更新された時刻です。

③ 表示切替

タイル表示と一覧表示を切り替えます。(→2.2.2 ダッシュボード操作)

④ 一覧表示領域

ユニット毎にパネル情報が表示されます。

⑤ パネル情報

パネル内にユニットの情報が表示されます。(図 6 参照)

パネルを押すと、『個別設定』画面を表示します。(→2.3.1 個別設定画面)

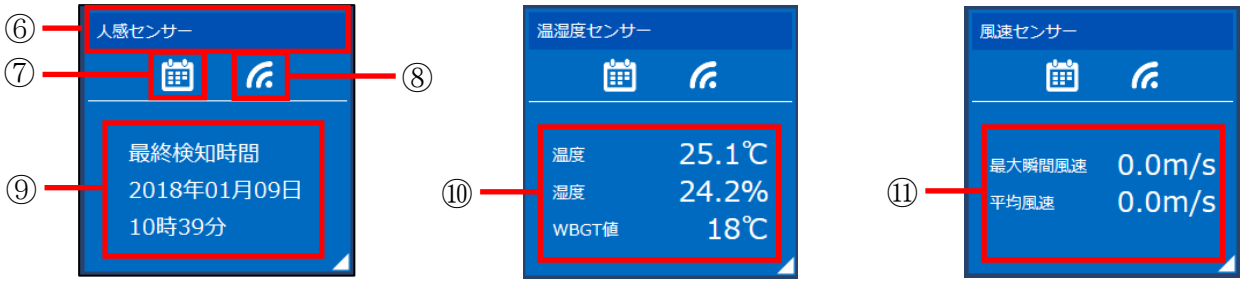


図 6

⑥ ユニット名称

ユニットに登録されている名称が表示されます。ユニット名称は【設定】から変更できます。

(→3.1.2 ユニットの名称変更)

⑦ ユニット動作モードアイコン

:動作モードが『スケジュール通り監視』を表します。

:動作モードが『音・光 強制 ON』を表します。

:動作モードが『音・光 強制 OFF』を表します。

:動作モードが『常時監視』を表します。

⑧ 通信状態アイコン

:通信が正常な状態を表します。

:通信が切断されている状態を表します。

⑨ 最終検知時間 ※WEF-DS01,WEF-TH01 のみ

ユニットの情報を最後に取得した時刻を表示します。

⑩ WBGT 値、温度、湿度**(温湿度センサー)**

センサーから取得した測定値を表示します。

⑪ 平均風速、最大瞬間風速**(風速センサー)** ※WEF-DS01 のみ

センサーから取得した測定値を表示します。

平均風速は直近 10 分間の平均風速、最大瞬間風速は直近 1 分間内の最大瞬間風速が表示されます。

※平均風速は、機器の電源を入れてから 10 分間は正常な値を表示しません。

⑫ メニューボタン

【現在値】ボタンを押すと一覧表示画面へ表示を切り替えます。

【設定】ボタンを押すと『設定』画面へ表示を切り替えます。

【ヘルプ】ボタンを押すと『操作マニュアル』を表示します。

【ログアウト】ボタンを押すとログアウトします。

⑬ ユニットリスト

登録されているユニットが表示されます。『設定画面』の『ユニット設定』で入力した名前が表示されます。

『設定』画面の『グループ設定』でグループ分けをすることができます。

2.2.2. 一覧表示操作

一覧表示画面での操作を説明します。

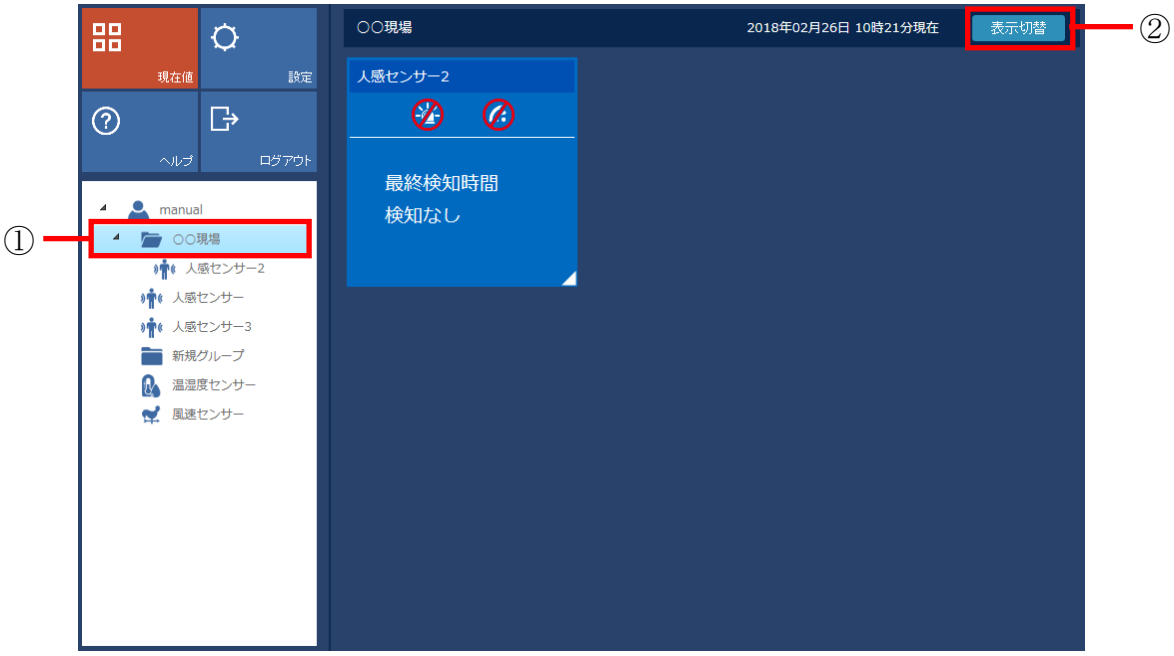


図 7

I. 図 7-①『ユニットリスト』でグループを押すと、グループ内のユニットだけをダッシュボードに表示します。(図 7 参照)

ユーザー名を押すと、登録している全てのユニットをダッシュボードに表示します。

II. 図 7-②【表示切替】ボタンを押すと、登録ユニットの一覧表示に画面を切替えます。(図 8 参照)



図 8

2.3.　人感センサーの設定を行う ※WEF-DS01,WEF-TH01 のみ

人感センサーの設定方法を説明します。

2.3.1.　個別設定画面

個別設定画面の各種名称、ボタン操作を説明します。

※ユニット設定(→3.1 ユニット設定)で、接続点が登録されていないユニットはモード変更やスケジュール設定はできません。

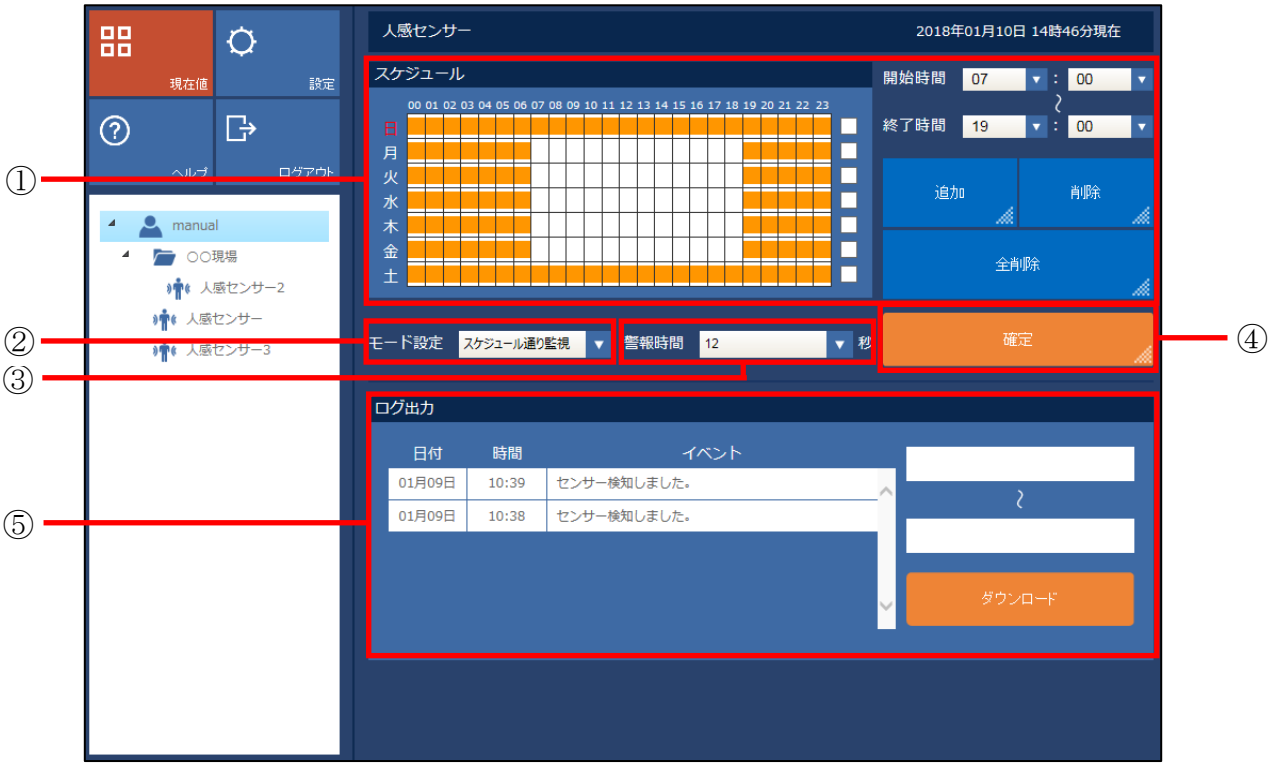


図 9

① スケジュール設定

スケジュール通り監視モードで動作させる時間を指定します。

指定した時間が橙色で表示されます。(→2.3.3 スケジュール設定)

② モード設定

表示灯とスピーカー及びメール通知機能の動作モードを設定します。

【スケジュール通り監視, 音・光 強制 ON, 音・光 強制 OFF, 常時監視】から選択できます。

(→2.3.2 モード変更)

※デフォルト：スケジュール通り監視

③　警報時間

表示灯とスピーカーの動作時間を設定します。

【3, 5, 10, 12, 15, 20, 30, 45, 60, 90, 120, 180, 300, 600, 900, 1800, 3600】(秒)から選択できます。

※デフォルト：12 秒

※警報時間は機器全体の設定になります。人感センサーの画面から変更すると他のセンサーにも反映されます。

④　【確定】ボタン

『モード設定』と『警報時間』で設定した内容を反映させます。

⑤　ログ出力

取得した情報を過去 100 件分まで履歴として表示します。100 件より前の情報は CSV 形式でダウンロードができます。(→2.3.4 ログ出力ダウンロード)

2.3.2.　モード設定の変更

表示灯とスピーカー及びメール通知機能の動作を変更する方法を説明します。

I.　『ダッシュボード画面』のパネルから変更するユニットを選択します。(図 6 参照)

II.　『モード設定』から、変更するモードを選択してください。(図 10 参照)

各モードでの動作は以下の表の通りです。

モード	検知時間	表示灯･スピーカー	メール通知間隔	メール送信
スケジュール通り監視	スケジュール時間内	動作する	経過している	送信する
		動作する	経過していない	送信しない
	スケジュール時間外	動作しない	経過している	送信しない
		動作しない	経過していない	送信しない
音･光　強制 ON	終日	常に動作する	経過している	送信する
		常に動作する	経過していない	送信しない
音･光　強制 OFF	終日	動作しない	経過している	送信する
		動作しない	経過していない	送信しない
常時監視	終日	動作する	経過している	送信する
		動作する	経過していない	送信しない

III. 警報時間を選択してください。(図 10 参照)

表示灯とスピーカーを動作させる時間になります。

【3, 5, 10, 12, 15, 20, 30, 45, 60, 90, 120, 180, 300, 600, 900, 1800, 3600】(秒)から選択できます。

IV.　【確定】ボタンを押してください。『モード設定』『警報時間』が反映されます。(図 10 参照)



図 10

2.3.3. スケジュール設定、削除

・スケジュール設定

『スケジュール通り監視』モードにおける表示灯とスピーカー及びメール通知機能の動作時間帯を設定する方法を説明します。

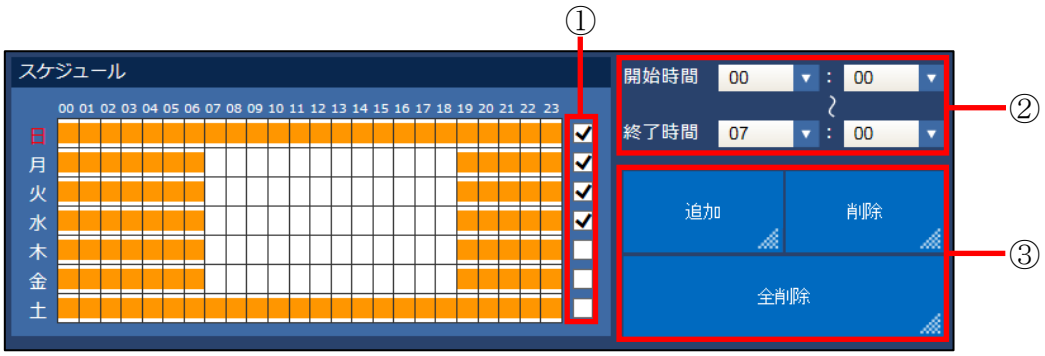


図 11

I. 曜日のチェックボックスを選択してください。一度に複数の曜日を選択できます。(図 11-①参照)

II. 開始時刻と終了時刻を選択してください。(図 11-②参照)

III. 【追加】ボタンを押してください。(図 11-③)

『スケジュール表示領域』に橙色で表示されます。(図 12 参照)

※例)月曜日から金曜日の 7 時から 20 時を除いて鳴動させたい場合(図 12 参照)

①土日にチェックし、00:00～24:00 を選択し【追加】ボタンを押してください。

②月～金にチェックをし、00:00～07:00 を選択し【追加】ボタンを押してください。

③ 月～金にチェックし、20:00～24:00 を選択し【追加】ボタンを押してください。

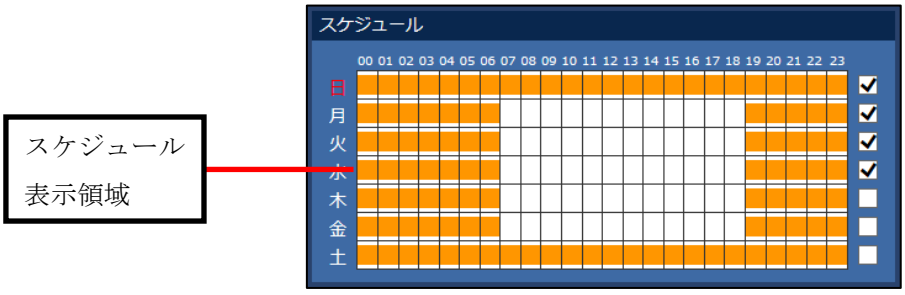


図 12

・スケジュール設定削除

スケジュール設定した内容の一部または全て削除する方法を説明します。

I. 曜日のチェックボックスを選択してください。一度に複数の日付を選択できます。(図 11-①参照)

II. 開始時刻と終了時刻を選択してください。(図 11-②参照)

III. 【削除】ボタンを押してください。(図 11-③参照)

選択したスケジュール表示領域が白く表示されます。

IV. 【全消】ボタンを押すと、現在設定されている内容が全て削除されます。(図 11-③参照)

2.3.4. ログ出力のダウンロード

ログ出力のダウンロード方法を説明します。

※ログ出力は zip 形式で圧縮された CSV ファイルになります。

I. 『ダッシュボード画面』からユニット名称を選択します。(図 6 参照)

II. テキストボックスを押すとカレンダーが表示されます。ダウンロードする日付の範囲を指定してください。(図 13-①、13-②参照)

※本日分はダウンロードできません。



図 13

III. 【ダウンロード】ボタンを押して、ダウンロードしてください

※Edge の場合、標準ではダウンロードフォルダに保存されます。(図 14 参照)

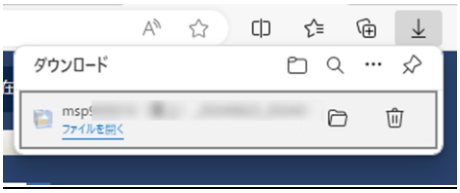


図 14

2.4.　温湿度センサーの設定を行う

温湿度センサーの設定方法を説明します。

2.4.1.　個別設定画面

個別設定画面の各種名称、ボタン操作を説明します。

<u>※ユニット設定(→3.1 ユニット設定)で、接続点が登録されていないユニットはモード変更やスケジュール設定はできません。</u>



図 15

① スケジュール設定

スケジュール通り監視モードで動作させる時間を指定します。

指定した時間が赤く表示されます。(→2.3.3 スケジュール設定)

② 現在値

センサーから最後に取得した測定値を表示します。

表示範囲

温度：-20℃～50℃

湿度：0%～100%

WBGT：15～44℃（WEF-GT01 の場合 WBGT：0℃～50℃）

<u>※上記範囲外の温度を計測した場合、温度と WBGT は「--.-℃」と表示されます。</u>

③ しきい値

設置場所での警報動作に関するしきい値を設定します。

WBGT(注意)：現在の WBGT 値が設定した値以上になった場合、警報動作の判定をします。

WBGT(警告)：現在の WBGT 値が設定した値以上になった場合、警報動作の判定をします。

初回通知：警報動作判定回数です。WBGT 値が、設定したしきい値を初回通知で設定した回数連続で超えた場合に警報が動作します。警報動作判定は 1 分に 1 回実施されます。

※初回通知が「5」の場合、5 分間 WBGT 値がしきい値を超えていたら警報動作します。

再通知：警報動作再判定回数です。一度警報が動作してから、WBGT 値が同じしきい値範囲内の場合、再通知で設定した回数判定するまで警報が動作しません。

警報動作再判定は 1 分に 1 回実施されます。

※再通知が「5」の場合、一度 WBGT(注意)のしきい値を超えて警報が動作した後、値が WBGT(注意)で続く場合、5 分毎に警報が動作します。

④ WBGT 表

温度と相対湿度による WBGT 表を表示します。

※WEF-GT01 では、黒球温度センサーを用いたより精度の高い算出方法を使用しており、
この表の値とは一致しない場合があります。

⑤ モード設定

表示灯とスピーカー及びメール通知機能の動作モードを設定します。

【スケジュール通り監視, 音・光 強制 OFF, 常時監視】から選択できます。

(→2.3.2 モード変更)

※デフォルト：スケジュール通り監視

⑥ 警報時間

表示灯とスピーカーの動作時間を設定します。

【3, 5, 10, 12, 15, 20, 30, 45, 60, 90, 120, 180, 300, 600, 900, 1800, 3600】(秒)から選択できます。

※デフォルト：12 秒

※警報時間は機器全体の設定になります。温湿度センサーの画面から変更すると他のセンサーにも反映されます。

⑦ 【確定】ボタン

『モード設定』と『警報時間』『しきい値』で設定した内容を反映させます。

⑧ グラフ表示

センサーから取得した測定値をグラフで表示します。表示する種類を『WBGT』『温度』『湿度』、グラフ表示期間を『分単位』『時単位』『日単位』から選択できます。

⑨ ログ出力

警報が動作した情報を過去 100 件分まで履歴として表示します。100 件より前の情報は CSV 形式でダウンロードができます。(→2.3.4 ログ出力ダウンロード)

2.5.　風速センサーの設定を行う ※WEF-DS01 のみ

風速センサーの設定方法を説明します。

2.5.1.　個別設定画面

個別設定画面の各種名称、ボタン操作を説明します。

※ユニット設定(→3.1 ユニット設定)で、接続点が登録されていないユニットはモード変更やスケジュール設定はできません。



図 16

① スケジュール設定

スケジュール通り監視モードで動作させる時間を指定します。

指定した時間が赤く表示されます。(→2.3.3 スケジュール設定)

② 平均風速、最大瞬間風速

センサーから最後に取得した測定値を表示します。平均風速は最新 10 分間の平均値、最大瞬間風速は最新 1 分間の最大値になります。

表示範囲

平均風速：0～60m/s

最大風速：0～60m/s

③ しきい値

現場での警報動作に関するしきい値を設定します。

平均風速：現在の平均風速値が設定した値以上になった場合、警報動作の判定をします。

最大瞬間風速：現在の最大瞬間風速値が設定した値以上になった場合、警報動作の判定をします。

初回通知：警報動作判定回数です。平均風速値が、設定したしきい値を初回通知で設定した回数超えた場合に警報が動作します。警報動作判定は 1 分に 1 回実施されます。

※初回通知が「5」の場合、5 分間しきい値を超えていたら警報動作します。

再通知：警報動作再判定回数です。一度警報が動作してから、平均風速の値が同じしきい値範囲内の場合、再通知で設定した回数判定するまで警報が動作しません。

警報動作再判定は 1 分に 1 回実施されます。

※再通知が「5」の場合、一度平均風速のしきい値を超えて警報が動作した後、平均風速値がしきい値を超えた状態が続く場合、5 分毎に警報が動作します。

※初回通知と再通知の設定は平均風速にのみ適用され、最大瞬間風速はしきい値を超える度に警報が動作します。

④ モード設定

表示灯とスピーカー及びメール通知機能の動作モードを設定します。

【スケジュール通り監視, 音・光 強制 ON, 音・光 強制 OFF, 常時監視】から選択できます。

(→2.3.2 モード変更)

※デフォルト：スケジュール通り監視

⑤ 警報時間

表示灯とスピーカーの動作時間を設定します。

【3, 5, 10, 12, 15, 20, 30, 45, 60, 90, 120, 180, 300, 600, 900, 1800, 3600】(秒)から選択できます。

⑥ 【確定】ボタン

『モード設定』と『警報時間』『しきい値』で設定した内容を反映させます。

⑦ グラフ表示

センサーから取得した測定値をグラフで表示します。表示する種類を『WBGT』『温度』『湿度』、グラフ表示期間を『分単位』『時単位』『日単位』から選択できます。

⑧ ログ出力

警報が動作した情報を過去 100 件分まで履歴として表示します。100 件より前の情報は CSV 形式でダウンロードができます。(→2.3.4 ログ出力ダウンロード)

3. 設定

ここでは各種設定方法を説明します。

3.1. ユニット設定

ユニットの追加、削除及び名称変更の方法を説明します。

3.1.1. ユニット追加

I. 【設定】ボタンを押し、次に【ユニット設定】タブを選択してください。(図 -①参照)

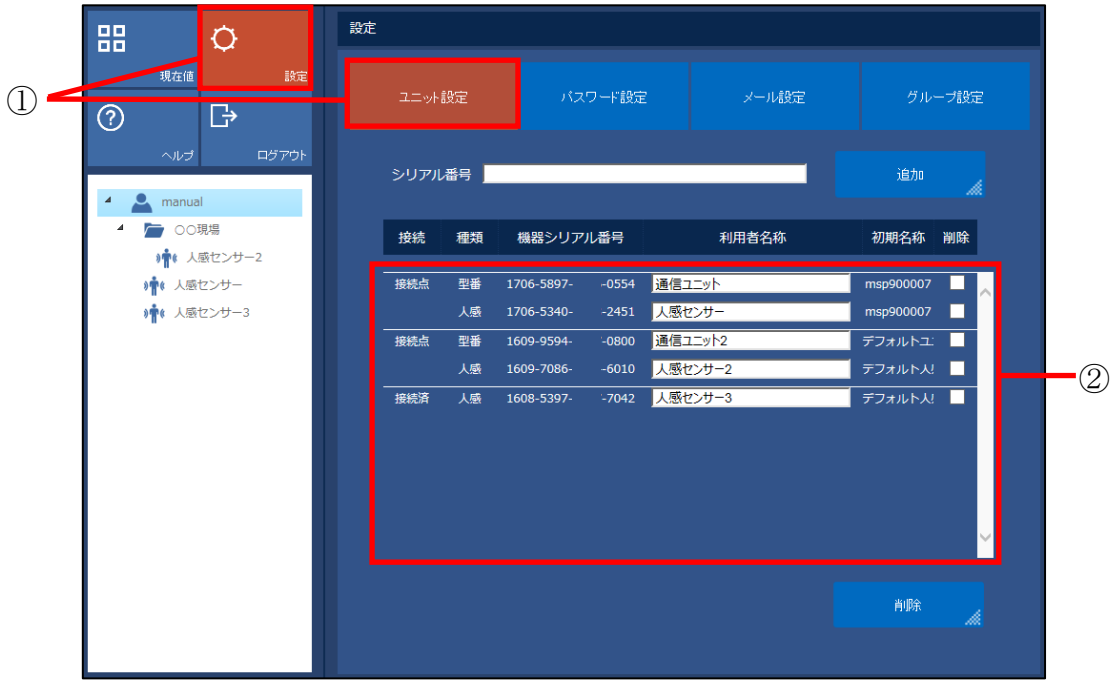


図 17

II. 『シリアル番号』に追加するユニットのシリアル番号を入力して、【追加】ボタンを押してください。(図 参照)
シリアル番号の確認方法は『4.1 シリアル番号がわからない』を参照してください。
ユニットが追加されるとリストに表示されます。(図 -②)



図 18

<u>※センサーユニットのみ追加した場合は、個別設定できません。(→1.4 ユニット管理の仕組みについて参照)</u>

3.1.2. ユニットの名称変更

『利用者名称』のテキストボックスに変更したい名称を入力してください。(図 参照)

※ユニット名称は半角 64 文字、全角 32 文字まで設定することができます。



図 19

3.1.3. ユニットの削除

I. 『削除』のチェックボックスを選択し、【削除】ボタンを押してください。(図 参照)



図 20

II. 『削除しますか？』というポップアップが表示されるので、【OK】ボタンを押してください。

3.2.　パスワード設定

パスワードの変更方法を説明します。

3.2.1.　パスワード変更

I.　【設定】ボタンを押してください。【パスワード設定】タブを選択してください。(図 -①参照)

II.　各テキストボックスにパスワードを入力してください。この時パスワードは●で表示されます。(図 -②参照)

III.　パスワード入力後【確定】ボタンを押してください。(図 -③参照)

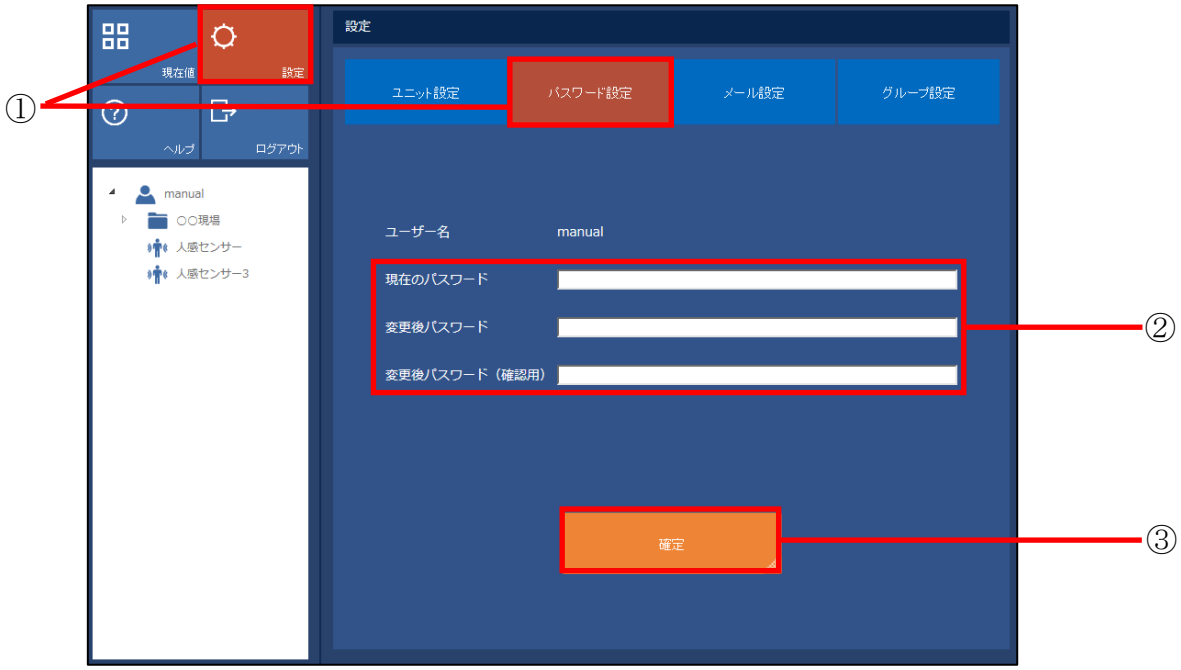


図 21

※<u>パスワードは半角英数字 4 桁以上 16 桁以内で入力してください。</u>

IV.『変更しました』というポップアップが表示されます。【OK】ボタンを押してください。

3.3. メール設定

メール通知の設定方法を説明します。

3.3.1. メールアドレス登録

I. 【設定】ボタンを押してください。【メール設定】タブを押してください。(図 22-①参照)

II. 『メールアドレス登録』のテキストボックスにメールアドレスを入力してください。メールアドレスは 5 個まで登録することができます。(図 22-②参照)

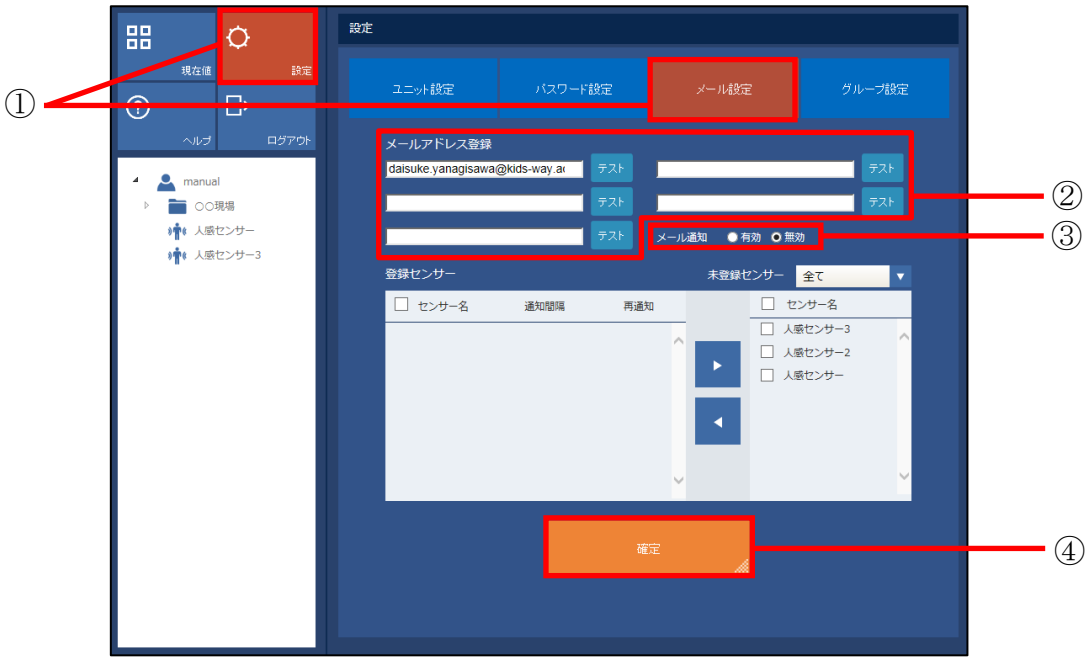


図 22

III. 【テスト】ボタンを押すと、テストメールを送信することができます。(図 -②参照)

IV. メール通知機能を使用する場合は『有効』を選択してください。『無効』の場合はメール通知されません。(図 -③参照)

V. 【確定】ボタンを押してください。メールアドレスの入力が反映されます。(図 -④参照)

※メール内容について

送信元メールアドレス :sensor-alert@iot-cloud.jp

メール件名『【警告】(ユーザー名):人感センサー(msp××××××)に反応がありました』

メール本文『センサー検知時間 ユーザー名:人感センサー(msp××××××)に反応がありました。』

3.3.2. 通知ユニット登録

登録したメールアドレスに対して、通知するユニットの設定方法を説明します。

I. 未登録センサーに登録されているユニットが表示されます。メール通知するユニットにチェックを入れてください。(図 -①参照)

<u>※未登録センサーリストから、表示するユニットの種類を選択できます。(図 -②参照)</u>



図 23

II. 【◁】ボタンを押してください。チェックを入れたユニットが登録センサーに移動します。(図 164 参照)



図 16

III. ユニットごとにメール通知の再通知設定ができます。(図 17 参照)

通知間隔：メール通知後設定した時間内は、警報判定があった場合でもメール通知されません。【0, 5, 10, 15, 30, 60, 120,180】分から選択してください。

再通知：メール通知後、しきい値による警報動作判定が続いている場合に、設定した判定回数までメール通知されません。【1,5,10,15,30,60,120,180,∞】から選択してください。

※通知間隔を『5』に設定していた場合、メール送信後 5 分間はユニットに検知があった場合でもメール送信されません。通知間隔経過後、新たに検知した場合にメールが送信されます。

※最通知を『5』に設定していた場合、しきい値を超えてメール送信後同じしきい値判定が続く場合、5 分毎にメールが送信されます。

※再通知を『∞』に設定していた場合は、しきい値を超えてメール送信後同じしきい値判定が続く場合はメールが送信されません。

※通知間隔時間内の検知はメール送信されません。



図 175

VI. 【確定】ボタンを押してください。設定が反映されます。(図 25 参照)

3.3.3. 通知ユニット削除

登録センサーに設定されたユニットを削除する方法を説明します。

I. 登録センサーに、メール通知するユニットが表示されます。メール通知登録から削除するユニットにチェックを入れてください。(図 186 参照)



図 186

II. 【削除→】ボタンを押してください。チェックを入れたユニットが未登録センサーに移動します。(図 197 参照)



図 197

III. 【確定】ボタンを押してください。設定が反映されます。(図 7 参照)

3.4.　グループ設定

グループ管理の方法を説明します。

3.4.1.　グループの作成

I.　【設定】ボタンを押してください。【グループ設定】タブを押してください。(図 20-①参照)

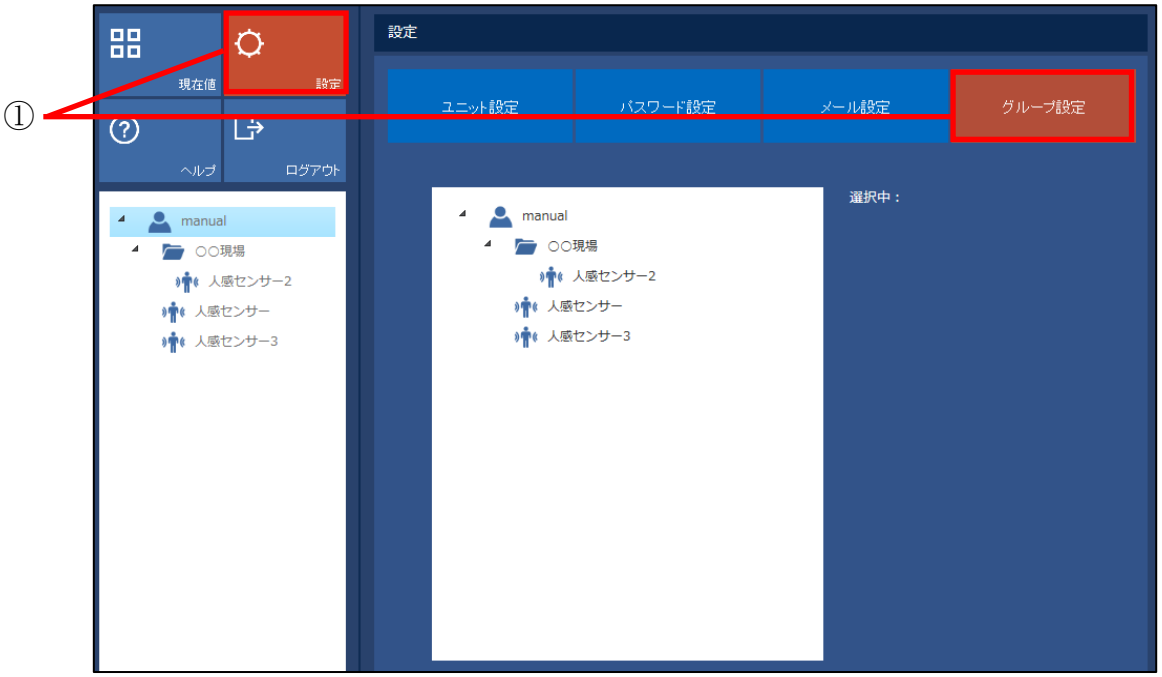


図 20

II.　『ユーザー名』を押してください。【追加】ボタンが表示されます。(図 21 参照)

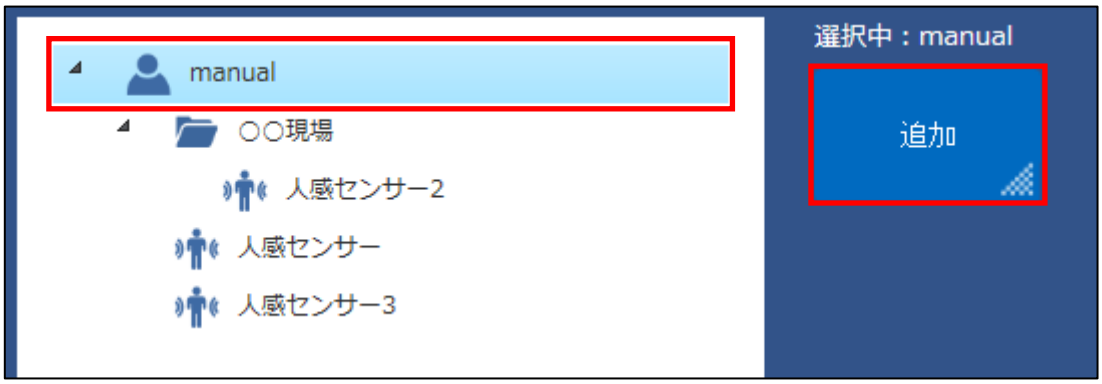


図 21

III. 【追加】ボタンを押してください。追加グループ名のテキストボックスが表示されます。
作成するグループ名称を入力し、【確定】ボタンを押してください。ユーザー名の下にグループが作成されます。(図 22 参照)

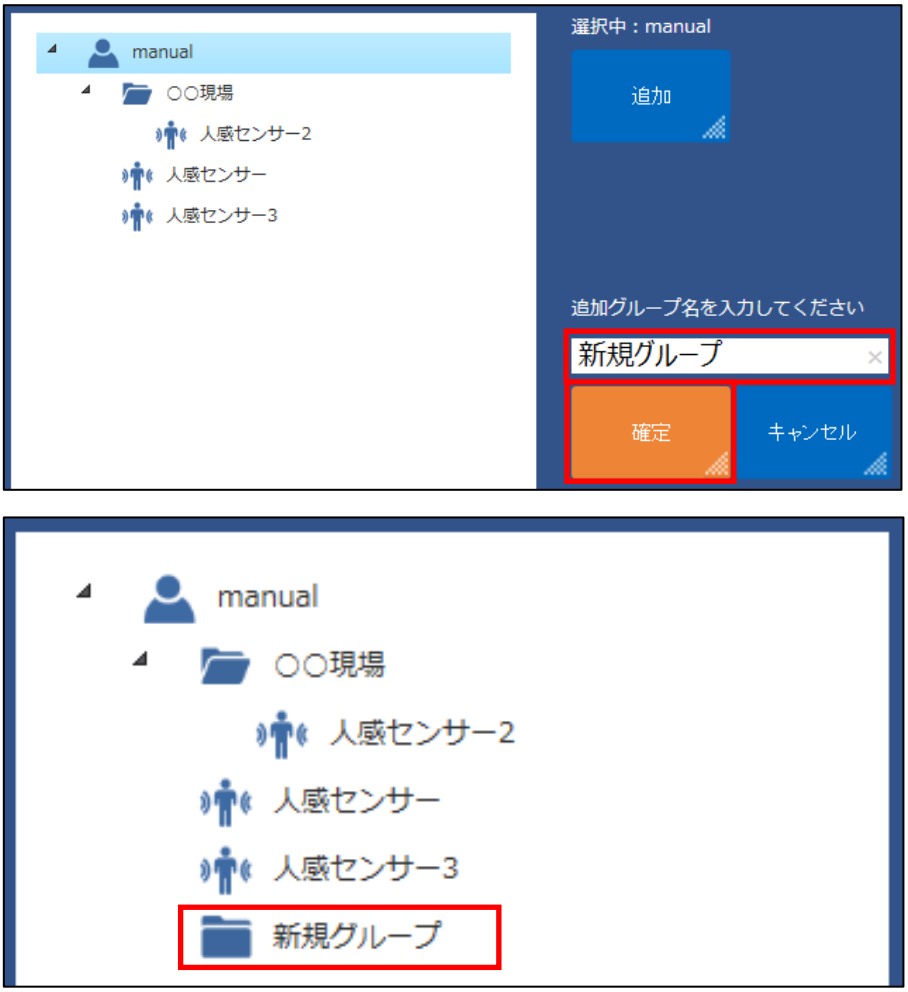


図 22

3.4.2. グループ操作

グループ操作の方法を説明します。

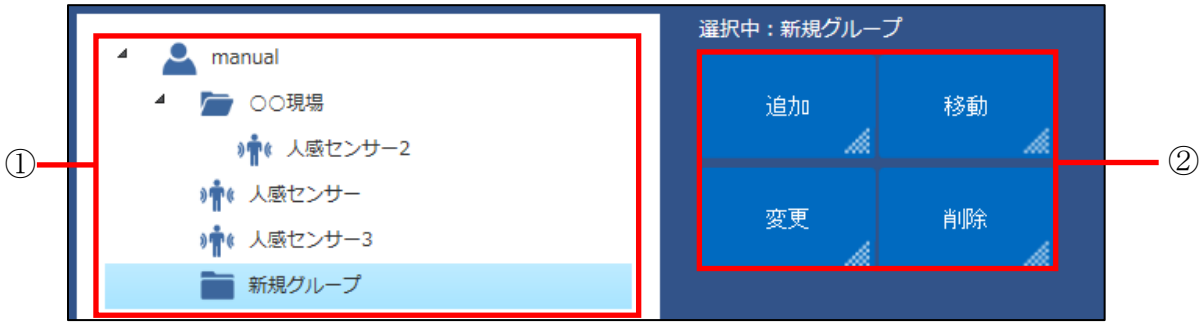


図 23

I. 『グループ名』または『ユニット名』を押してください。(図 23-①参照)

II. 『操作ボタン』が表示されます。(図 23-②参照)

グループ　【追加】選択したグループの下に新しくグループを作成します。

【移動】選択したグループをユーザー、または他のグループの下に移動します。

【変更】グループ名称を変更します。

【削除】選択したグループを削除します。

ユニット　【移動】選択したユニットを移動します。

4. 困ったときは

4.1.　シリアル番号がわからない

ユニットを登録する際に必要なシリアル番号は、設定情報シートには記載されていません。
ログイン後、【設定】ボタンを押し、【ユニット設定】画面からユニットのシリアル番号が確認できます。
(図 24-①参照)
※シリアル番号による設定の権限については『1.4 ユニット管理の仕組みについて』を参照してください。

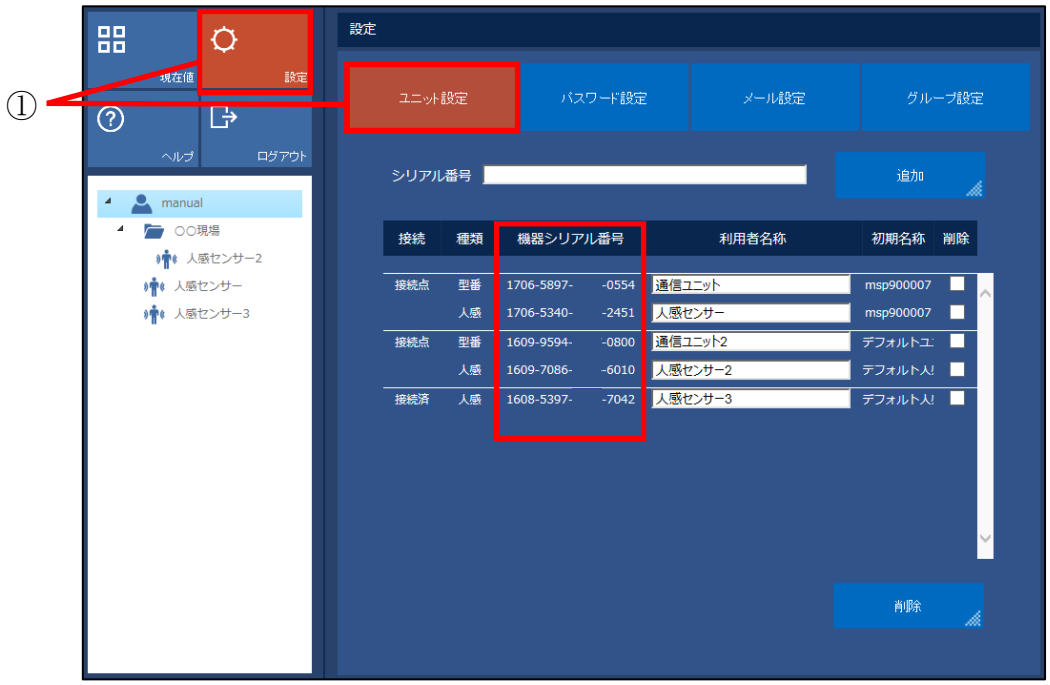


図 24